

平成28年12月
さいたま市の財政



つなが電
又
さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、平成27年度の決算の概要と平成28年度上半期の財政状況をお知らせします。

もくじ

- 1 平成27年度決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 平成28年度歳入歳出予算の執行状況
 - ・一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - ・特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3 平成28年度予算の使い方と市税負担・・・・・・・・・・ 7
- 4 財産、地方債及び一時借入金の現在高・・・・・・・・ 8
- 5 公営事業の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

1 平成27年度決算の概要

決算の特徴

- ◆平成27年度は、CS90という目標に向け、市民満足度のさらなる向上に取り組み、「総合振興計画後期基本計画」、「しあわせ倍増プラン2013」及び「さいたま市成長戦略」を推進する事業を着実に実施しました。
- ◆市民一人ひとりがしあわせを実感でき、誰もが住みやすいと思えるまちづくりの実現を目指しました。
- ◆特に、「教育」「環境」「健康・スポーツ」の分野で、本市の良さや強みを生かしながら、様々な施策や事業の取組を効果的に行いました。
- ◆歳入の根幹をなす市税収入が6年連続で増加しました。決算規模は、本市誕生以来最大であった前年度に次ぐ規模でした。また、一層のコスト削減と財源の確保に努めました。

決算の総額

一般会計

教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。一般会計は1つしかありません。

教育

福祉

土木

など

歳入 4,585億円

歳出 4,480億円

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には16の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

歳入 3,187億円

歳出 3,152億円

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

収入 948億円

支出 1,068億円

全会計合計

歳入(収入) 8,720億円

歳出(支出) 8,700億円

主な事業

①環境・アメニティ

低炭素に暮らす都市へ～水素をエネルギーとする自動車の普及～



環境未来都市推進事業・次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業

【決算 1億7,887万円】

電気自動車普及施策「E-KIZUNA Project」を推進するとともに、市の支援により県内初のオンサイト型商用水素供給施設（ハイパーエネルギーステーションS）を開設し、災害時にもエネルギー供給が可能なハイパーエネルギーステーションを整備しました。

②健康・福祉

新待機児童ゼロプロジェクト～保育所定員の大幅増～

特定教育・保育施設の整備【決算 22億7,484万円】

保育所等利用待機児童を解消するため、保育所等を整備する社会福祉法人等に対して補助金を交付し、定員を1,530人増やしました。



③教育・文化・スポーツ

市民マラソン・国際女子マラソンの開催で「日本一スポーツで笑顔あふれるまち」へ



さいたまシティマラソン事業【決算 1億5,014万円】

11月15日（日）に、リオデジャネイロオリンピックの女子マラソン代表選手選考会を兼ねた「第1回さいたま国際マラソン」を開催しました。（参加申込者数：9,899人）

④都市基盤・交通

自転車ライフを楽しめるまちへ

自転車政策事業【決算 5億438万円】

自転車に関する各施策を体系的に取りまとめた「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはと～」を策定し、「さいたま自転車のまち構想」の実現に向けた取組を推進しました。



⑤産業・経済

医療ものづくりはさいたまから



さいたま医療ものづくり都市構想推進事業【決算 4,925万円】

臨床ニーズとものづくり技術のマッチング、コーディネーターによるマッチング、市場化支援を行いました。（医学会出展4回、医療ものづくり道場6回、試作品開発・製品化支援6件、メーカーとの展示・商談会2回）

⑥安全・生活基盤

安心して避難ができる災害に強い都市へ

（仮称）北袋1丁目防災公園整備事業【決算 2億7,833万円】

さいたま新都心の広域防災・医療拠点を補完するオープンスペースの確保と、市民の憩い、レクリエーションの場となる身近な公園の整備に向け、（仮称）北袋1丁目防災公園の整備事業に関する平成27年度費用負担契約を独立行政法人都市再生機構と締結しました。



このほかにもさまざまな事業に取り組みました。
また、現場の声を政策に反映するために、市政の最前線である各区役所からの提案事業にも取り組みました。

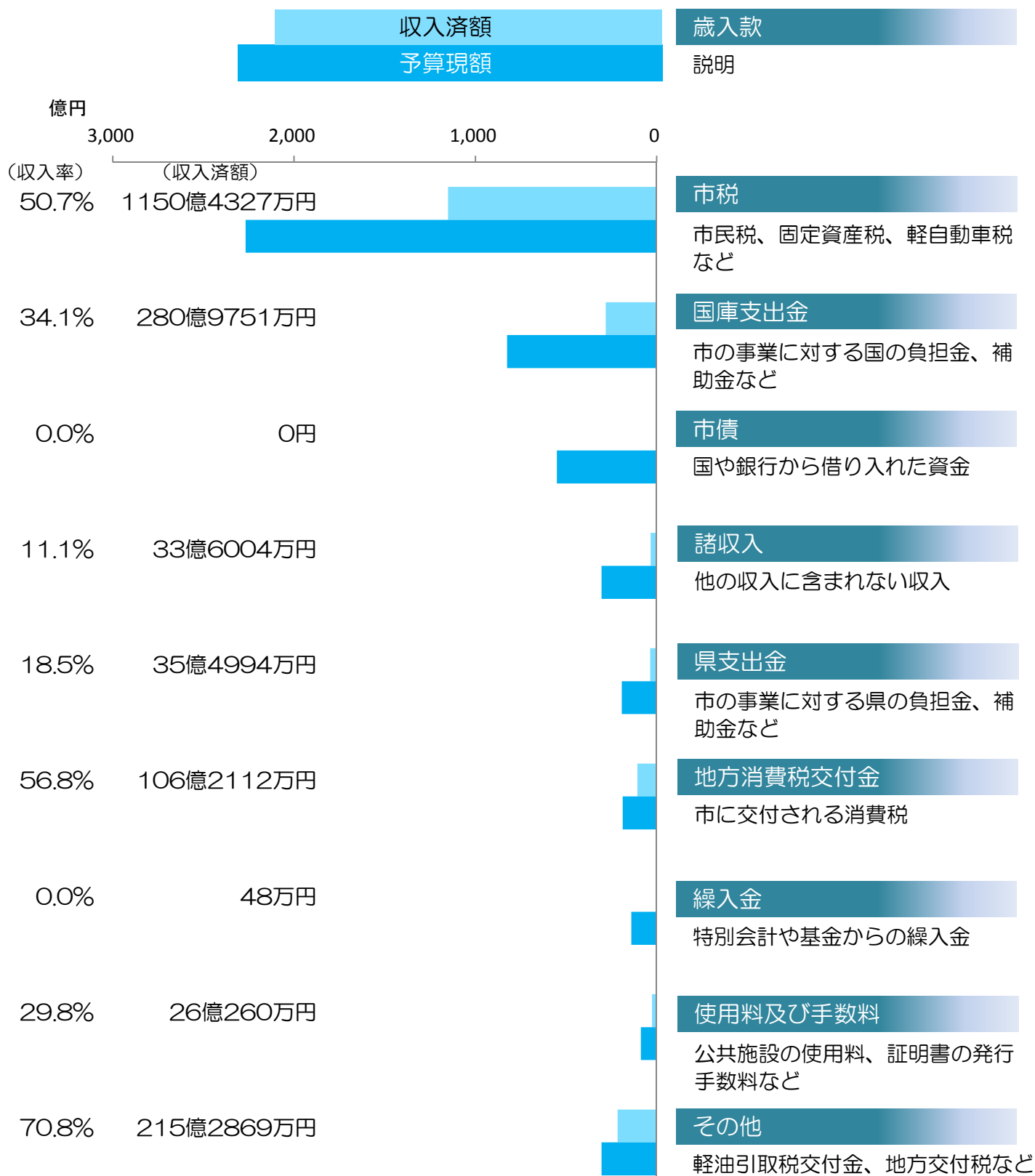


2 平成28年度歳入歳出予算の執行状況

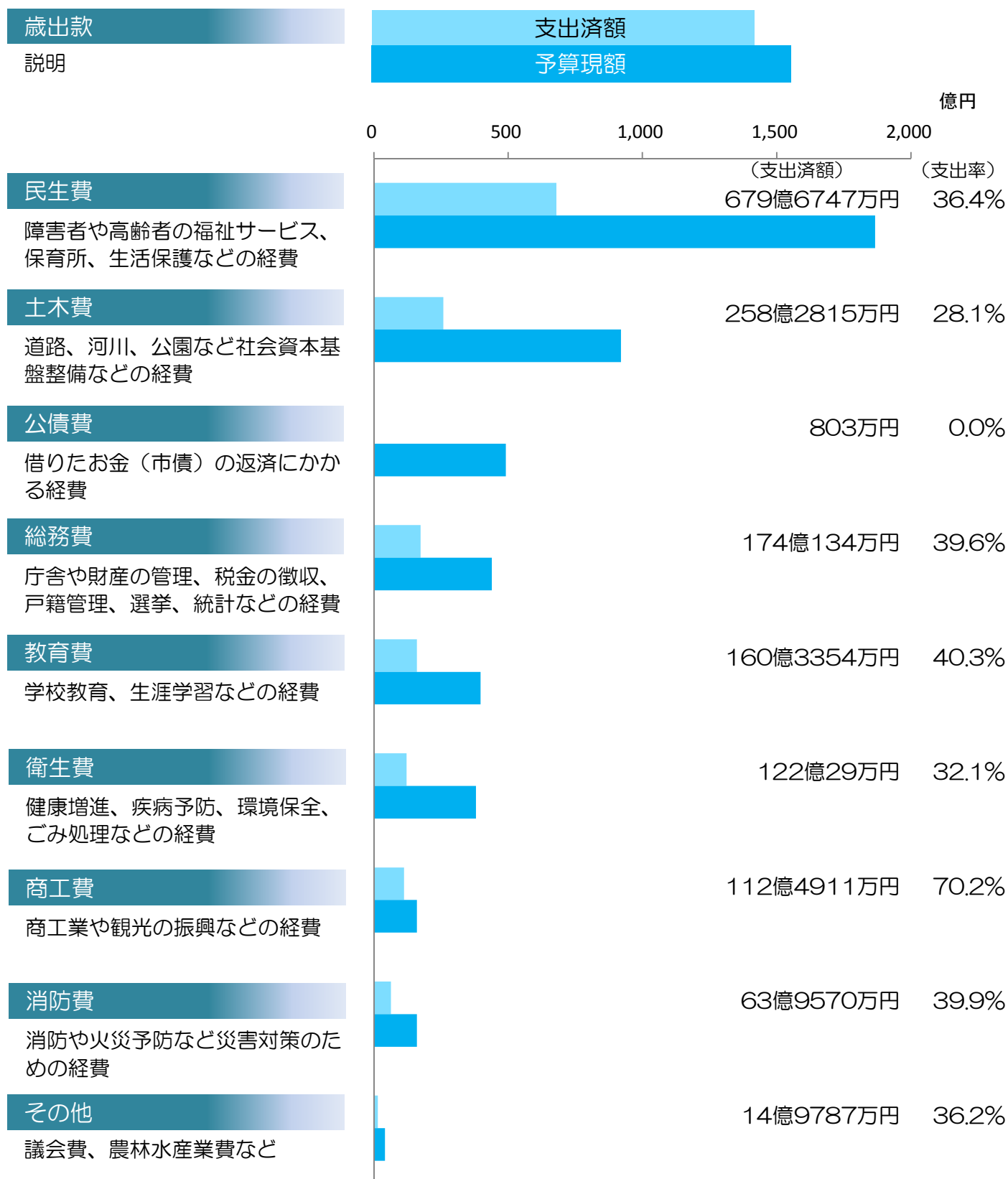
一般会計

※予算現額は、当初予算額に補正予算額と前年度繰越額を加えた平成28年9月末の予算額を表します。
補正予算額には、9月末時点で成立していないものは含まれていません。

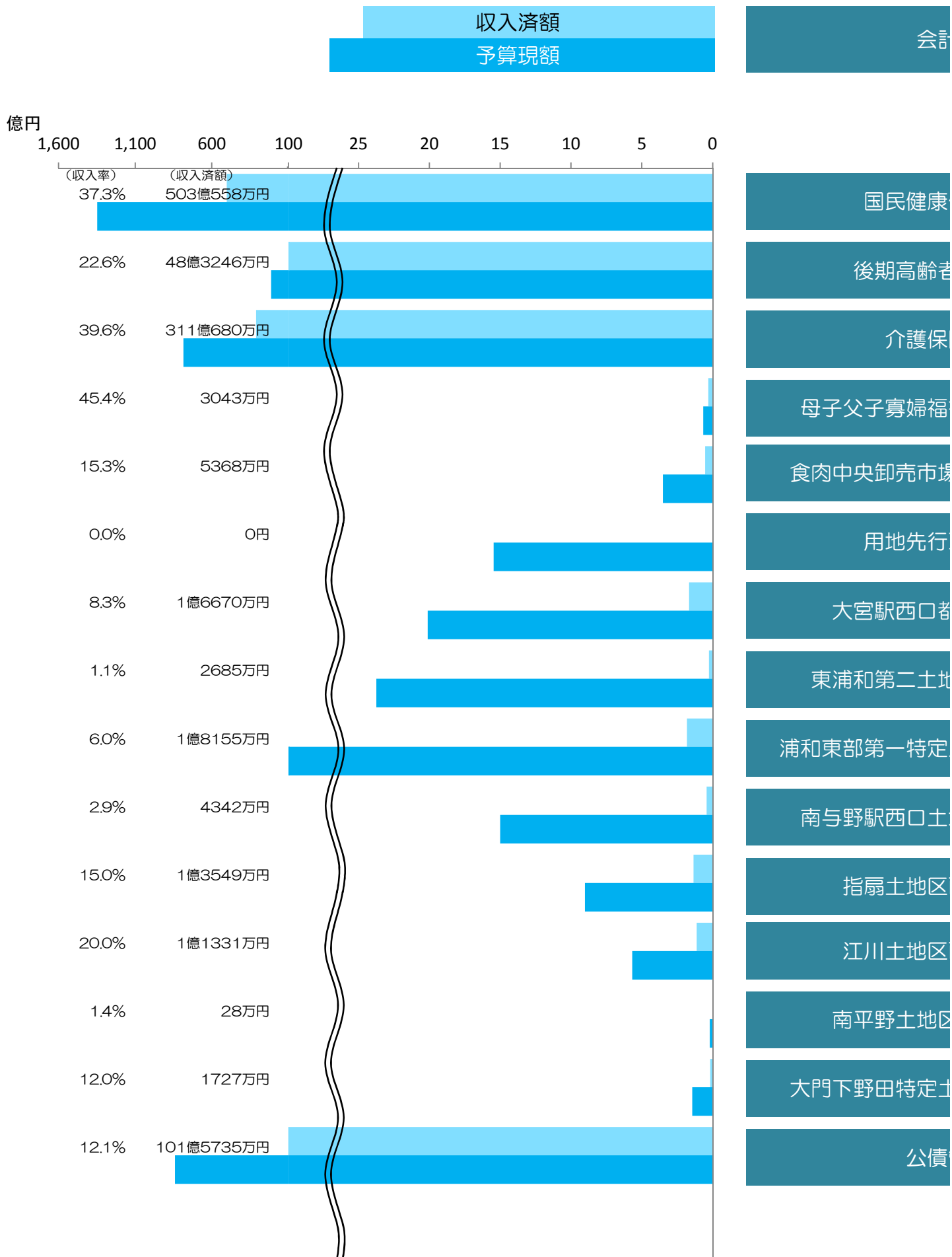
$$\text{歳入} \frac{\text{収入済額 } 1848\text{億}365\text{万円}}{\text{予算現額 } 4855\text{億}9716\text{万円}} = \text{収入率 } 38.1\%$$

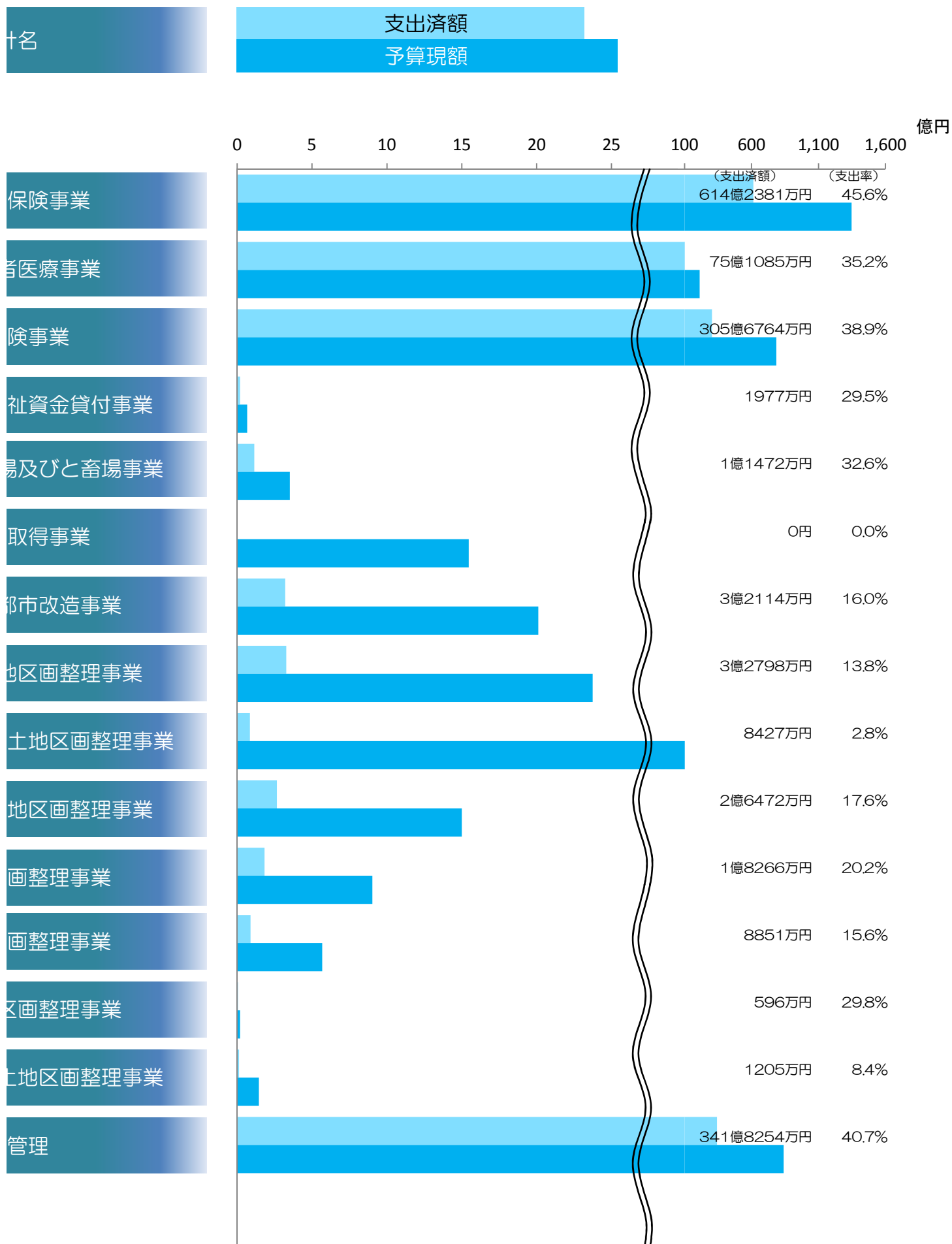


歳出 $\frac{\text{支出済額 } 1585\text{億}8150\text{万円}}{\text{予算現額 } 4855\text{億}9716\text{万円}} = \text{支出率 } 32.7\%$



特別会計





3 平成28年度予算の使い方と市税負担

市民一人当たりの予算の使われ方

1

民生費



145,823円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

379,435 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※平成28年10月1日現在の人口（1,279,788人）を基に算出（以下同様）

2

土木費



71,879円

3

公債費



38,387円

4

総務費



34,327円

5

教育費



31,053円

6

衛生費



29,697円

7

商工費



12,529円

8

消防費



12,511円

その他

農林水産業費
議会費
労働費
予備費
災害復旧費

3,229円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

177,174 円

市民税



88,703円

固定資産税



64,104円

都市計画税	13,805円
市たばこ税	6,239円
事業所税	3,413円
軽自動車税	907円
その他	3円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

財産



その他の財産

区分	9月末現在高	単位
公有財産	立木	7,274.00 ㎡
	物権	267,972.98 ㎡
	動産	なし
	無体財産権	9 件
	有価証券	9,685,115,136 円
	出資による権利	1,636,407,715 円
	不動産の信託受益権	なし
物品	3,761 点	
債権	3,234,276,670 円	

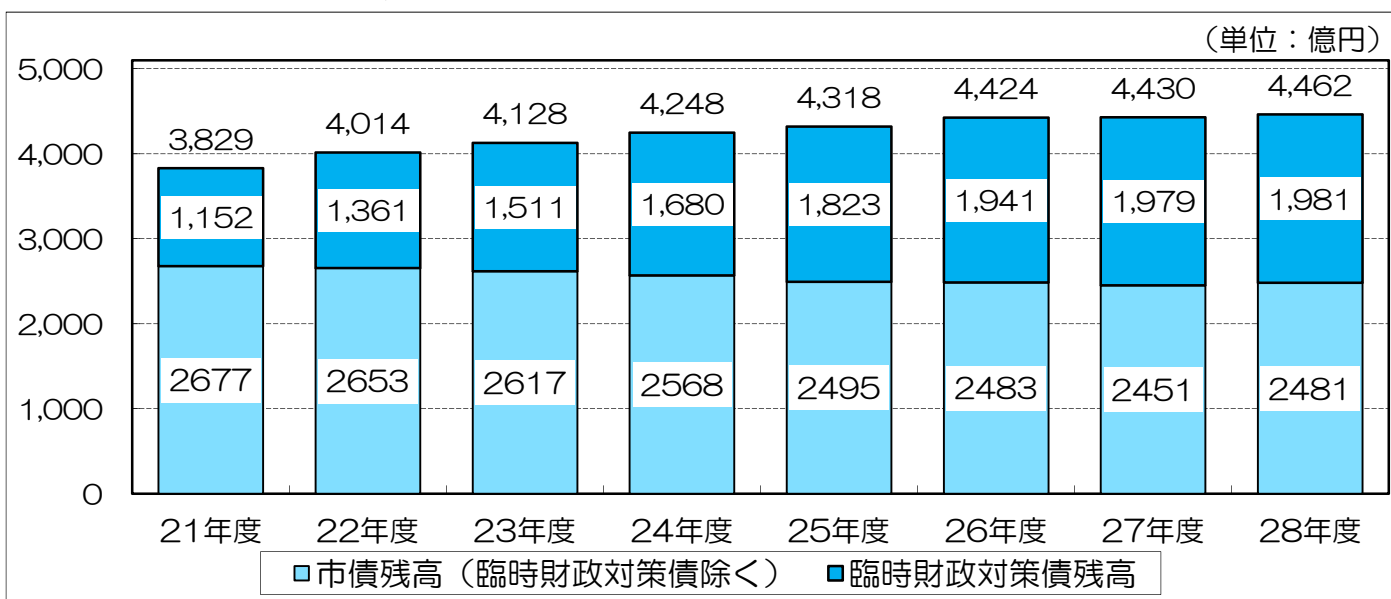
※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

地方債

(単位：千円)

会計	平成28年3月末 現在高	平成28年 4月～9月 借入額	平成28年 4月～9月 償還額	平成28年9月末 現在高	
一般会計	414,998,778	27,999,434	20,236,312	422,761,900	
特別会計	15,144,347	892,400	1,455,021	14,581,726	
企業会計	水道事業	56,995,667	0	2,324,185	54,671,482
	病院事業	1,602,992	0	111,361	1,491,631
	下水道事業	179,648,085	0	5,783,586	173,864,499
合計	668,389,869	28,891,834	29,910,465	667,371,238	

(参考) 市債残高の推移



※平成27年度までは決算額、平成28年度は見込額

一時借入金

平成27年度下半期に引き続き、平成28年度上半期における借入れはなく、平成28年9月末現在の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

5 公営事業の状況

水道事業

基本方針

水道事業では、昭和12年（1937年）の給水開始以来、6期の拡張事業を重ね、ほぼ100%の普及率となっていますが、普及率が著しく向上した高度経済成長期に建設した多くの施設の老朽化が進み、大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの向上も必要となっています。

一方、これらの事業の財源となっている水道料金収入は、節水型機器の普及などにより減収傾向にあり、財源の確保が課題となっています。

水道局では、このような時代や環境の変化に対応するため、「安全、強靱、持続」を観点として平成26年12月に改訂した水道事業長期構想に基づき効率的、効果的な事業運営に努めていきます。

平成27年度決算の概要

決算額 40,337,985千円

(単位:千円)

水道施設整備事業	6,971,380
水の安定的な供給を図るための施設整備を推進しました。	

病院事業

本市唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしていますが、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっていることから、中期経営計画に基づいた、医療機能の充実と健全経営の確立を図る必要があります。

また、施設及び設備が老朽化しており、安定した医療提供体制の維持と、医療機能を強化するために、施設の更新を行い、地域がん診療連携拠点病院として質の高い医療の提供や、高度医療機器の整備、緩和医療を含めた診療体制の充実などを図っていく必要があります。

平成27年度決算の概要

決算額 16,009,882千円

(単位:千円)

市立病院施設整備事業	571,375
市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施しました。	

市立病院エネルギーセンター更新ESCO事業	300,000
安定した医療機能を確保するため、老朽化した市立病院のエネルギーセンターについて、ESCO事業を導入しながら更新しました。	

市立病院高度医療機器整備事業	412,523
質の高い医療の提供及び病院機能拡充のため、血管造影装置更新等の機器整備を行いました。	

下水道事業

基本方針

1. 計画的な事業の推進

限られた財源で十分な投資効果が得られるよう、効率性の確保や計画的な下水道事業の推進を図ります。また、下水道施設の維持と安定的なサービス提供のため、計画的な維持管理事業の推進も図ります。

2. 経営の健全化への取組の推進

事業全般について点検や見直しを行い、経費の削減を図り、一般会計からの繰入金に依存しない独立採算の経営に向けた様々な取り組みを推進します。

平成27年度決算の概要

決算額 50,463,695千円

(単位:千円)

下水道汚水事業	4,308,141
未整備地区については、さいたま市生活排水処理基本計画で定めた合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の下水道整備を推進しました。	

下水道浸水対策事業	5,575,793
浸水被害の軽減を目的とした雨水管、貯留施設等のハード対策を引き続き実施するとともに、市民の自助及び共助の促進を目的としたソフト対策を行いました。	

下水道施設老朽化対策事業	2,451,780
下水道総合地震対策計画に基づき、緊急輸送道路下の管さよ等重要な幹線の対策を優先的に実施し、老朽化した施設については、予防保全の観点から計画的な改築更新を実施しました。	
また、老朽化した中継ポンプ場等の予防保全を図るため、長寿命化対策として改築更新を実施しました。	

■ 経理の概況 (平成28年度上半期) (単位:千円)

科目	金額
資産	215,707,235
(1) 固定資産	195,749,192
(2) 流動資産	19,958,043
負債	93,392,724
(1) 固定負債	55,931,786
(2) 流動負債	6,334,451
(3) 繰延収益	31,126,487
資本	115,738,265
(1) 資本金	101,491,732
(2) 剰余金	14,246,533
収益	14,479,386
うち営業収益	14,428,096
費用	7,513,060
うち営業費用	6,833,452
整理勘定(中間勘定)	390,080

(単位:千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	15,623,167	47.9%	7,964,616	29.3%
資本的収支	132,913	3.3%	6,200,357	29.7%

■ 事業の概況 (平成28年度上半期)

項目	前年同期	当期	増減率
給水件数	578,575	586,218	101.3%
給水量 (m ³)	65,708,430	65,637,630	99.9%
一日平均給水量 (m ³)	359,062	358,676	99.9%

■ 経理の概況 (平成28年度上半期) (単位:千円)

科目	金額
資産	15,467,782
(1) 固定資産	10,396,120
(2) 流動資産	5,071,662
負債	6,050,694
(1) 固定負債	3,998,798
(2) 流動負債	822,754
(3) 繰延収益	1,229,142
資本	9,427,719
(1) 資本金	8,239,316
(2) 剰余金	1,188,403
収益	6,959,376
うち営業収益	6,891,004
費用	6,766,812
うち営業費用	6,686,274
整理勘定(中間勘定)	203,195

(単位:千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	6,968,992	45.7%	6,880,974	45.1%
資本的収支	0	0.0%	2,728,545	72.6%

■ 事業の概況 (平成28年度上半期)

項目	前年同期	当期	増減率	
病床数	567	567	100.0%	
入院患者数	一般病床	81,045	81,967	101.1%
	結核病床	950	1,390	146.3%
一日平均入院患者数	一般病床	442.9	447.9	101.1%
	結核病床	5.2	7.6	146.2%
外来患者数	118,718	117,198	98.7%	
一日平均外来患者数	965.2	952.8	98.7%	

■ 経理の概況 (平成28年度上半期) (単位:千円)

科目	金額
資産	411,884,509
(1) 固定資産	405,593,958
(2) 流動資産	6,290,551
負債	276,522,374
(1) 固定負債	168,008,549
(2) 流動負債	8,759,791
(3) 繰延収益	99,754,034
資本	131,220,049
(1) 資本金	130,399,359
(2) 剰余金	820,690
収益	12,780,771
うち営業収益	12,777,050
費用	3,812,647
うち営業費用	2,056,719
整理勘定(中間勘定)	4,826,038

(単位:千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	13,451,234	52.6%	3,956,704	16.3%
資本的収支	737,805	2.8%	11,484,127	29.1%

■ 事業の概況 (平成28年度上半期)

項目	前年同期	当期	増減率
汚水処理戸数	476,485	487,667	102.3%
汚水処理水量 (m ³)	70,289,047	68,166,540	97.0%
一日平均汚水処理水量 (m ³)	384,093	372,495	97.0%



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は56円（概算）です。

平成28年12月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1153~1155